

## ごみ減量化により目指す社会と効果

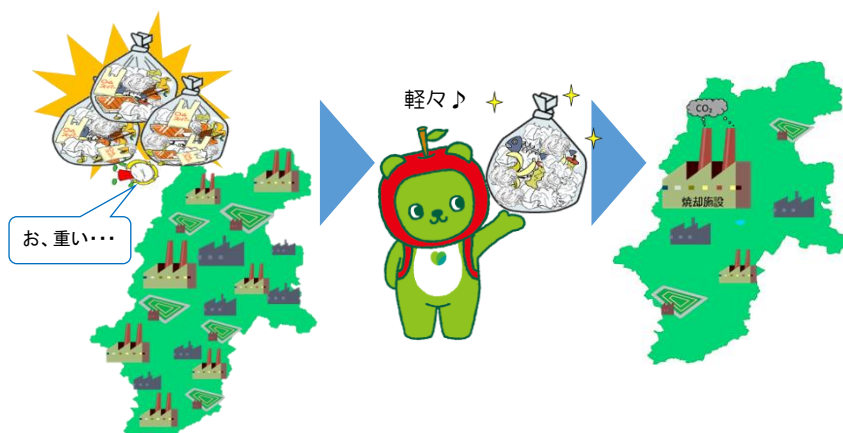
【目指す社会】※環境基本法の基本理念及び循環型社会形成推進基本法の趣旨から

大量生産・大量消費・大量廃棄を基調とした社会経済システムやライフスタイルを見直し、廃棄物の発生抑制、循環資源の利用、適正な処分がなされることにより、環境への負荷が少ない持続的な発展が可能な「循環型社会」の形成を目指す。

【課題と減量化の効果】

	ごみ処理の課題	減量化の効果
環境負荷	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費物資の製造段階で、多くの資源を利用している。</li> <li>ごみの運搬や焼却には、化石燃料が必要であり、CO<sub>2</sub>も排出される。</li> <li>多量の食品ロスが発生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>無駄なものを買わない、貰わないことにより、省資源化できる。(リユースも同様)</li> <li>ごみ減量化により燃料消費や CO<sub>2</sub>排出が抑制できる。</li> <li>生ごみや食品ロスが減少し、一方でエネルギーとしての利用が進む。</li> </ul>
処理施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>焼却施設、最終処分場などの建設が必要となる。</li> <li>住民同意が得られにくく、用地確保が困難になってきている。</li> </ul>	ごみ減量化により施設の規模を小さくすることができ、また、既存の最終処分場の延命化につながる。
処理経費	収集運搬、焼却、最終処分等に多額の経費が掛かる。	ごみ減量化により経費縮減を図ることができる。

<<長野県廃棄物処理計画から>>



CO<sub>2</sub>の発生量やエネルギーの使用量も減って、環境負荷も減るよ!

せっかく造ったごみ処理施設も長く大切に使えるね!

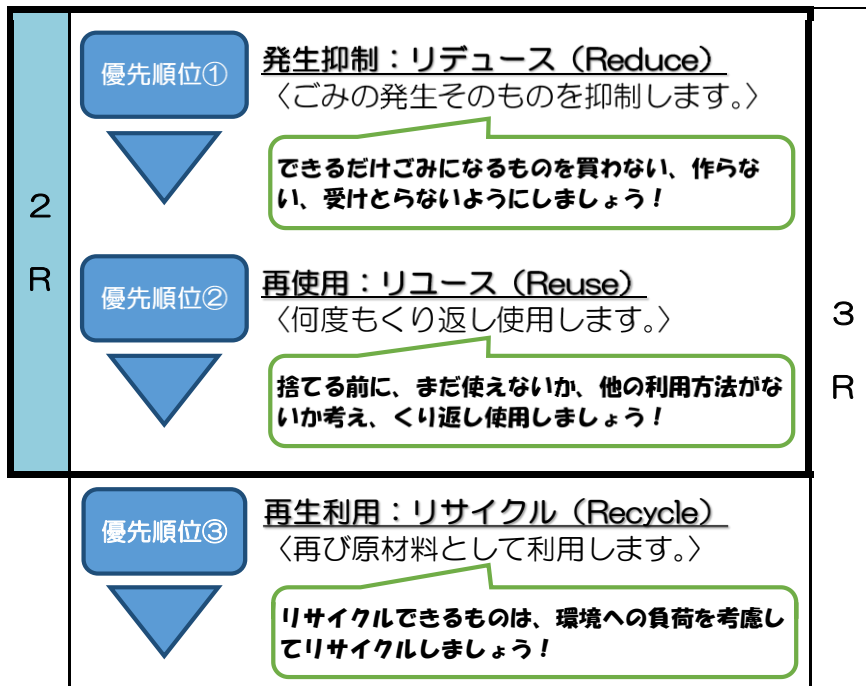
もちろん、ごみ処理費用も少なくなるよ! (住民負担の軽減)



## ごみ減量化に向けた3Rの取組

- ごみ減量化を効果的かつ適正に進めるためには、ごみの発生自体の抑制、可能なものは繰り返し使用、原材料になるものはリサイクル、などの取組が大切となる。
- 各取組(リデュース、リユース、リサイクル)の頭文字から、3Rと呼ばれている。
- ※ 3Rの取組と関連した具体例は下記のとおりである。

### 【3Rの取組】



### 【具体例】

レジ袋削減

食品ロス削減

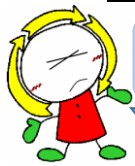
ごみ処理有料化  
記名式ごみ袋

食器・衣類のリユース

フードドライブ

生ごみ分別回収  
堆肥化・飼料化給食残渣の有効利用  
[学びの場]高効率ごみ発電施設  
(焼却施設)の設置運営町内会等による [住民  
ステーション管理 自治]

廃棄物組成調査



それでも、ごみになってしまうものは・・・

### 熱回収

〈単に焼却するのではなく、焼却の際に発生するエネルギーを回収します。〉

### 適正処分

〈最後に残った廃棄物を適正に中間処理や埋立処分します。〉

## 市町村の主なごみ減量化施策取組状況のまとめ

## ○ごみ処理有料化（指定袋等への処理料金等上乘、シール・チケット販売）状況

県内	実施	61 市町村（市 14 町村 47）	79.2%	※H29. 5. 1 市町村ごみ減量化施策取組状況調査による（生活系）
	未実施	16 市町村（市 5 町村 11）	20.8%	
全国	実施	1, 119 市町村	64.3%	※一般廃棄物処理事業実態調査（平成 27 年度実績）による（生活系（粗大ごみを除く））
	未実施	615 市町村	35.3%	

## ○ごみ処理有料化、記名式導入と排出量（H30. 5. 1 現在）

（H30. 5. 1 資源循環推進課調）

ごみ処理 有料化	記名式 ごみ袋導入	市町村数	1 人 1 日当たり 排出量(g)	1 人 1 日当たり 生活系排出量(g)
○	○	55 市町村（市 11 町村 44）	748	540
○	-	5 市町村（市 3 町村 2）	867	608
-	○	14 市町村（市 4 町村 10）	915	560
-	-	3 市町村（市 1 町村 2）	940	688

※人口割合で計算。（市町村割合で単純計算できない。）

## ○生ごみ処理機等への購入補助実施状況（H29. 5. 1 現在）

（H29. 5. 1 資源循環推進課調、 H27. 4 一般社団法人日本電気工業会調）

県内	導入	67 市町村（市 17 町村 50）	87%
	未導入	10 市町村（市 2 町村 8）	13%
全国	導入	1, 053 市町村	60.5%
	未導入等	688 市町村	39.5%

## ○食品ロス削減の取組状況（H29. 5. 1 現在）

生活系ごみ対象：27 市町村、 事業系ごみ対象：25 市町村、 両方のごみ対象：19 市町村  
 実施していない：43 市町村

○日曜回収の実施状況（H29. 5. 1 現在） 40 市町村

○高齢者世帯等の個別収集（H29. 5. 1 現在） 9 市町村

○レジ袋削減の推進（H29. 5. 1 現在） 県のスクラム運動の一環として実施：26 市町村  
 市町村独自の取組、支援として実施：33 市町村  
 マイバッグの全戸配布実施：5 市町村

○フードドライブの実施（H29. 5. 1 現在） 6 市町村

○廃棄物の組成調査実施（H29. 5. 1 現在） 53 市町村

## ○生ごみの分別収集実施（H28 年度一廃実調から）

無料回収：12 市町村 有料回収：12 市町村 分別収集なし：53 市町村

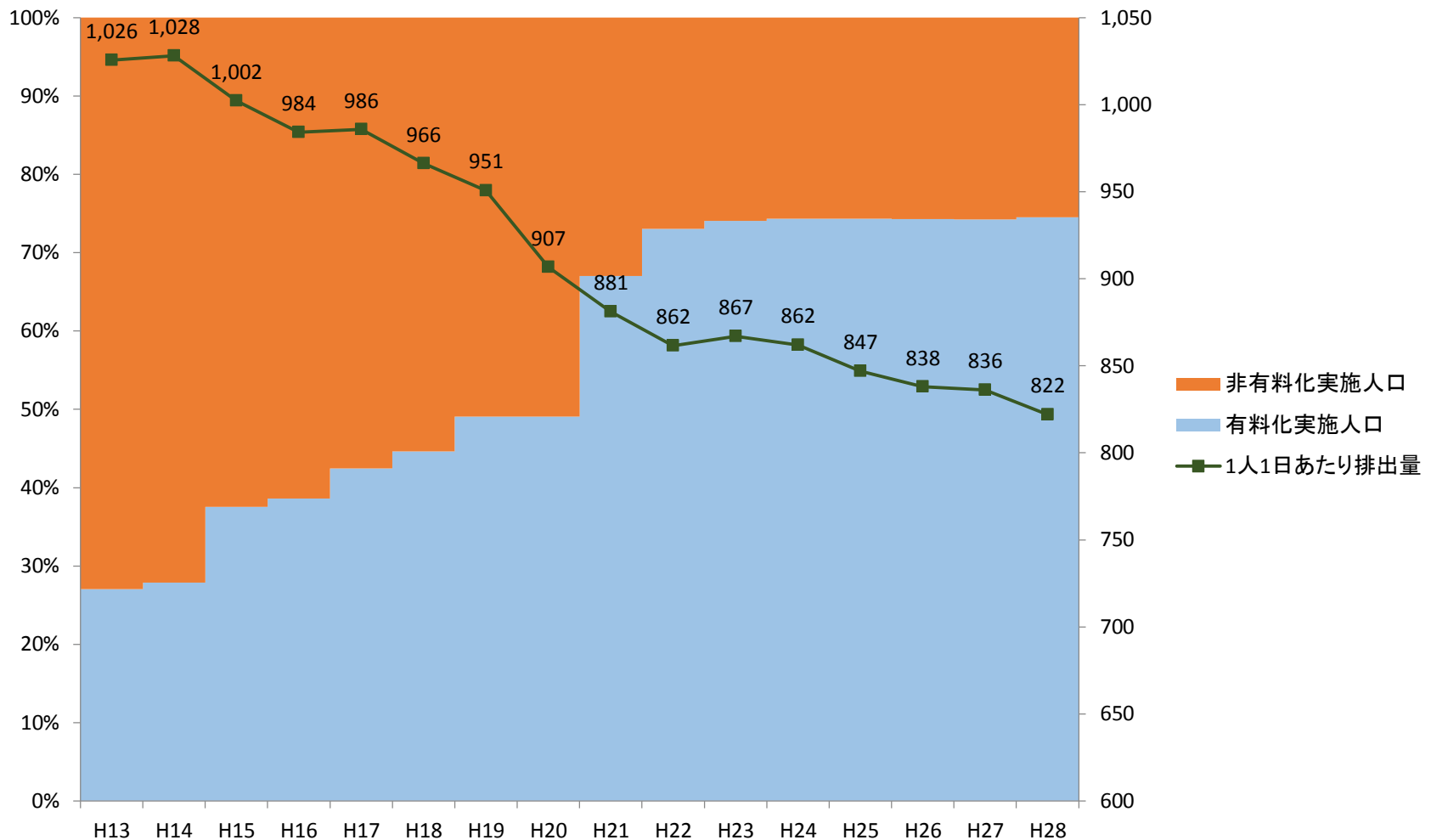
## ○学校等給食生ごみ処理状況（H29. 5. 1 現在）

・調理くず、食べ残しの堆肥化、飼料化等の実施

小中学校で実施 53 市町村 保育所で実施 52 市町村 どちらも取組なし 22 市町村

## 1. 県民1人1日当たりの排出量と、有料化人口との相関関係

※有料化人口=有料化した市町村の人口の合計



## 2. 有料化実施前後の排出量の変化

H21以降に有料化を実施した市町村(飯綱町はH28から実施であり表に含まない)

※前後6年間

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	増減率
長野市	1,063	1,035	1,008	948	961	958			▲ 9.9
山形村	929	893	858	858	854	840			▲ 9.6
野沢温泉村	1,149	1,144	1,055	1,028	1,095	1,113			▲ 3.1
信濃町	997	955	844	861	816	875			▲ 12.2
岡谷市		956	952	785	811	821	771		▲ 19.4
千曲市		829	814	787	800	814	817		▲ 1.4
坂城町		975	970	971	958	962	974		▲ 0.1
下諏訪町			1,004	1,061	881	883	858	830	▲ 17.3

## 3. まとめ

上記のグラフ・表から、有料化によるごみ削減効果はあきらかである。

※なお、環境省の示した廃棄物の減量に関する基本的な方針において、「経済的インセンティブを活用した一般廃棄物の排出抑制や再生利用の推進、排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革を進めるため、一般廃棄物処理の有料化の推進を図るべきである」とされている。

## 生ごみ資源化の取組

(H29.5.1現在)

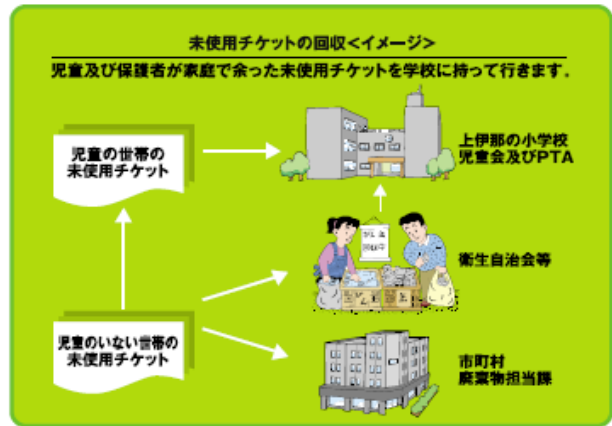
No.	市町村	事業系	生活系	取組み	施設
1	長野市	○		事業系生ごみを直接搬入また収集許可業者に依頼して、右記の施設で資源化	直富商事(株)苦桃工場 (株)宝資源開発篠ノ井営業所 NPO法人べとの会
2	上田市		○	「生ごみ堆肥化モデル事業」として、概ね20～50世帯程度の一団となった地区に大型生ごみ処理機を貸出し、家庭から排出される生ごみを共同で処理し、減量化・堆肥化するモデル事業	
3	岡谷市		○	家庭用生ごみをステーション回収。平成22年度より開始。回収拠点は147箇所。生ごみは委託処理で堆肥化	民間委託(ドミノ環境)
4	飯田市		○	生活系のみ。ごみ集積所へ市民が排出したものを収集して施設へ運搬後に堆肥化。週2～3回収集	
5	諏訪市		○	生活系のみ。大型生ごみ処理機へ市民が持ち込んで堆肥化	
6	小諸市	○	○	生活系・事業系ともに対象。指定袋(紙袋)で週2回収集。浅麓汚泥再生センターで肥料化处理。肥料は市民に無料配布。残さは焼却処理	浅麓汚泥再生処理センター
7	駒ヶ根市	○	○	自前施設による堆肥化处理は平成26年度で終了。生ごみは委託処理で堆肥化	民間委託(光商会)
8	大町市	○	○	市内小中学校(6校)、モデル自治会(1カ所)、市立病院(1)、市内福祉施設(4カ所)、民間宿泊施設等(10カ所)から排出される生ごみを分別収集し堆肥化を実施している。	指定管理(熊谷清掃社)
9	佐久市	○	○	臼田地区(旧臼田町)のみ生活系・事業系ともに対象。指定袋(有料)に入れて、週2回収集。堆肥は希望者に販売している。旧臼田町では昔から行っており、現在も臼田地区で継続中である。	佐久市堆肥製産センター
10	東御市	○	○	※H29.12から実施 生活系・事業系ともに対象。 指定袋(有料)に入れて可燃ごみと同日(週2回)に収集され、堆肥は市民に配布されたり、花壇整備等に用いられる。	東御市生ごみリサイクル(堆肥化)施設 (名称:エコクリーンとうみ)
11	小海町	○		大型生ごみ処理機で公共施設の生ごみをモデル的に堆肥化している。	民間委託
12	軽井沢町	○		事業系生ごみを直接搬入もしくは収集許可業者に依頼して浅麓汚泥再生処理センターで堆肥化处理。堆肥は町民に無料配布。残さは焼却処理	浅麓汚泥再生処理センター
13	御代田町	○	○	生活系・事業系ともに対象。指定袋(紙袋)で週2回収集。浅麓汚泥再生センターで堆肥化处理。堆肥は町民に無料配布。残さは焼却処理	浅麓汚泥再生処理センター
14	長和町	○	○	生活系・事業系ともに対象。生ごみ堆肥化处理施設(長和町大門・長門牧場)で堆肥化	長和町生ごみ堆肥化处理施設
15	下諏訪町		○	直接持込み又はグループ収集により生ごみリサイクルセンターへ集積し、業者委託により堆肥化	民間委託(光商会)
16	箕輪町		○	一部地区において生ごみ用の指定袋を配布し、堆肥化	民間委託(光商会)
17	松川町		○	ステーション回収を行い、委託処理で堆肥化	フードリサイクル施設
18	阿智村	○	○	クリーンひる西部(下伊那郡西部衛生施設組合)においてし尿、浄化槽汚泥とともにメタン発酵処理。自家発電に利用	クリーンひる西部 (下伊那郡西部衛生施設組合)
19	平谷村	○	○	クリーンひる西部(下伊那郡西部衛生施設組合)においてし尿、浄化槽汚泥とともにメタン発酵処理。自家発電に利用	クリーンひる西部 (下伊那郡西部衛生施設組合)
20	上松町	○	○	ステーション回収を行い、委託処理で堆肥化	民間委託(光商会)
21	南木曾町	○	○		
22	木祖村	○	○		
23	王滝村	○	○		
24	木曾町	○	○		
25	松川村	○		給食センター及び保育園給食施設の生ごみを堆肥化	民間施設((株)G・フレンドリー)
26	小谷村		○	村内2地域で地域住民が堆肥化施設を設け、家庭の生ごみを持ち込み堆肥化している。	
27	高山村	○	○	ステーション回収を行い、地力増進施設にて堆肥化	高山村地力増進施設

### 県内市町村等の取組事例

#### <<事例 1 : 上伊那広域連合における指定ごみ袋購入チケットの回収>>

上伊那広域連合では、ごみの排出抑制のため処理費用を有料化しており、ごみ袋購入に必要なチケットが各家庭に配付されています。各家庭で年度末に未使用のチケットが残っていると、そのチケットで指定ごみ袋をまとめ買いしてしまい、減量意識が薄れがちとなります。

このため、毎年、期限切れとなったチケットを児童会・PTAが回収し、回収を行った児童会にチケットの枚数に応じた奨励金が交付されています。



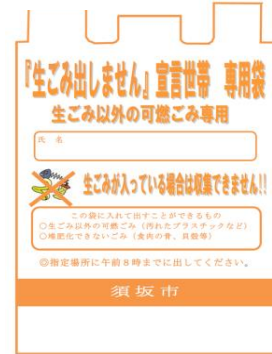
未使用チケット回収事業イメージ

#### <<事例 2 : 須坂市における「生ごみ出しません袋」の配付>>

須坂市では、生ごみを自家処理し、ごみの減量に取り組んでいる世帯に、生ごみ以外の可燃ごみを入れる専用の袋（「生ごみ出しません」宣言世帯専用袋）を配布しています。

電動生ごみ処理機、ダンボールコンポスト等で自家処理している世帯等が対象です。

須坂市は一般廃棄物処理の有料化制度を導入していますが、「生ごみ出しません袋」には手数料がかかりません。



生ごみ出しません袋



長野県リサイクル  
キャラクター「くるるん」

\* 廃棄物処理計画の取組事例集から抜粋  
(H27 時点の状況)

### ＜＜事例 3：松本市における食品ロス削減の取組＞＞

松本市は、家庭や飲食店における食品ロスを削減するため、「残さず食べよう！30・10 運動」を実施しています。

宴会では、乾杯後 30 分間とお開き前 10 分間は席を立たずに料理を楽しむ時間としています。

家庭では、毎月 30 日を冷蔵庫クリーンアップデー、10 日をもったいないクッキングデーとしています。

全市立保育園、幼稚園では、「ごみの分別と食べ残し」をテーマとした園児対象の参加型環境教育を実施しています。

また、環境教育によって変化した意識を継続させることが重要であることから、日常での学習が図れるように、食べ残しをテーマとした紙芝居を作成しています。

一方で、高齢者などから、宴会時において出される料理が多く、そもそも食べ切れないとの意見もあることから、「量より質を重視したメニュー」や「食べ切れる分量のメニュー」のことを「プラチナメニュー」と名付け、市内で提供可能な飲食店を募集しています。

残さず食べよう！



食品ロス削減啓発用紙芝居

### ＜＜事例 4：上田市における生ごみの堆肥化による排出抑制＞＞

上田市では、生ごみリサイクル野菜循環ポイント事業として、「上田やさいまる」を実施しています。

これは、市民が、電気式生ごみ処理機で乾燥させた生ごみや上田クリーンセンター内の「エコ・ハウス」で無償配布される生ごみ減量化基材「ぱっくん」（ピートモスとくん炭を混ぜたダンボールコンポスト基材）で処理した生ごみを「エコ・ハウス」に持ち込むと、JA 堆肥センターで堆肥化され、市内農家により農産物生産に活用されるという「資源循環・地産池消」を目指した取組です。

市民が、乾燥生ごみや使用済み「ぱっくん」（処理された生ごみ）を「エコ・ハウス」に持ち込んだ際には、市内 8 店舗の JA 直売所で買い物ができるポイント（乾燥生ごみ 1 kg = 1 ポイント、使用済み「ぱっくん」 = 5 ポイント、累計 5 ポイントで 500 円分）がもらえます。

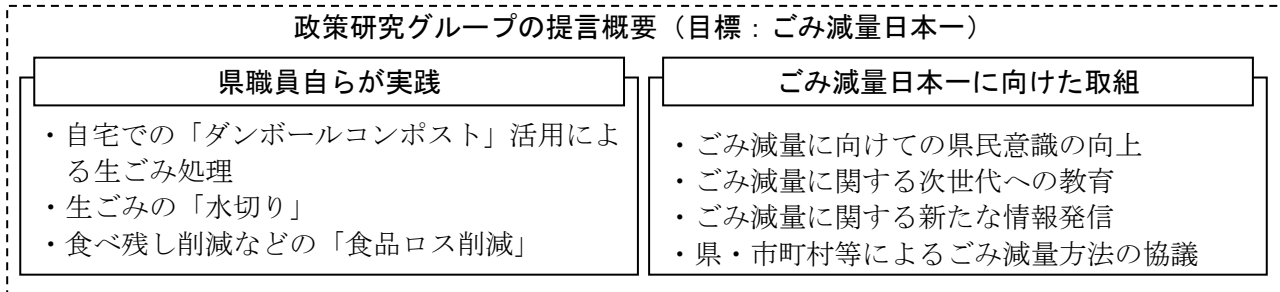


上田市リサイクル活動拠点施設「エコ・ハウス」  
「ぱっくん」（ダンボールコンポスト）

### 1 事業化の経過

県の政策研究グループの提案を受け、平成26年度末から事業化。(予算化は平成27年度から)

政策研究グループの提言概要 (目標：ゴミ減量日本一)



### 2 県内の一般廃棄物を巡る現状

○一般廃棄物排出量

長野県は、平成26年度、27年度及び28年度と3年連続で1人1日当たりの一般廃棄物排出量の少ない方から全国1位に。

⇒しあわせ信州創造プラン2.0及び第四次長野県環境基本計画の目標(県民1人1日当たり一般廃棄物排出量795g)達成に向けて、更なるゴミ減量への取組が必要。

(長野県の1人1日当たりの一般廃棄物排出量)

H24	H25	H26	H27	H28	H29 目標 ※しあわせ信州 創造プラン	2020(H32)目標 ※しあわせ信州創造 プラン2.0・第四次環 境基本計画
862g	847g	838g	836g	822g	800g 以下	795g

※1人1日当たり排出量の算出に用いる総人口には、平成24年度以降は外国人人口を含む

平成26年度			平成27年度			平成28年度		
順位	県名	重量	順位	県名	重量	順位	県名	重量
1位	長野県	838g	1位	長野県	836g	1位	長野県	822g
2位	沖縄県	844g	2位	沖縄県	841g	2位	滋賀県	831g
3位	熊本県	846g	3位	滋賀県	843g	3位	熊本県	843g
参考	全国平均	947g	参考	全国平均	939g	参考	全国平均	925g

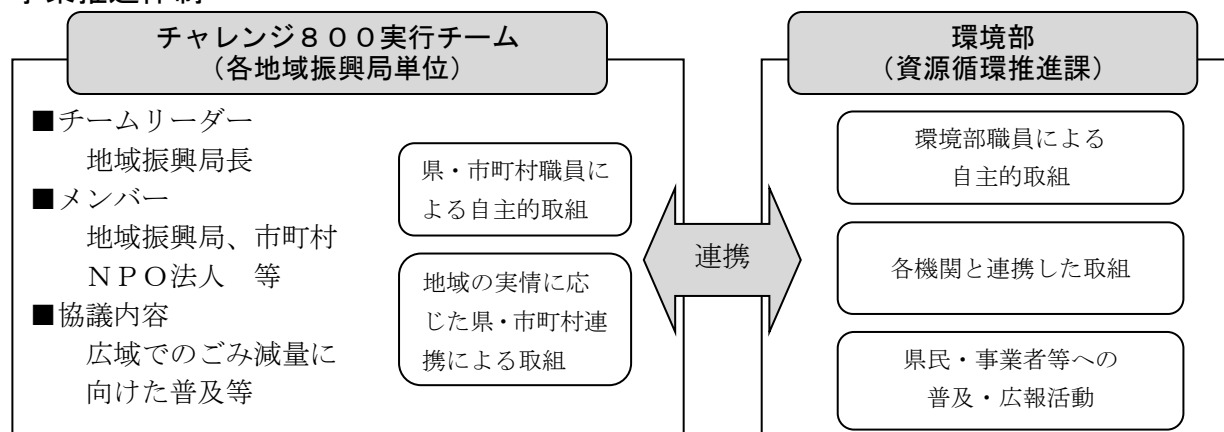
○マイバッグ等持参率(資源循環推進課調査)

67.0% (平成30年3月現在)

○食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～協力店登録数(平成30年3月末現在)

702店舗(飲食店525、宿泊施設80、小売業97)

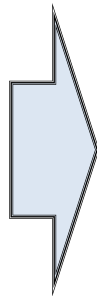
### 3 事業推進体制





## 4 取組内容

平成 29 年度の取組	平成 30 年度の取組
	<p><b>新規事業 地域循環圏の形成推進・支援</b></p> <p>○関係者向け研修会、アドバイザーによる巡回相談等により、チャレンジ800実行チーム（各地域振興局単位で設置済）による取組を支援  <u>※地域循環圏の説明は次ページのとおり</u></p>
<p><b>食品ロス・レジ袋削減県民運動の拡充・強化</b></p> <p>・「信州発もったいないキャンペーン」の新規実施</p> <p>・第1回食品ロス削減全国大会（松本市開催）への協力</p> <p>・レジ袋削減県民スクラム運動の実施（新たな取組の検討）</p>	<p><b>食べ残しを減らそう（食品ロス削減）・レジ袋削減県民運動の継続</b></p> <p>○「残さず食べよう30・10運動」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビCM放送（7～9月、11月～1月）</li> <li>・協力店の増加及び連携した推進</li> <li>・街頭等啓発活動</li> </ul> <p>○「信州発もったいないキャンペーン」の継続（賞味期限・消費期限近食品の購入呼び掛け）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賛同事業者の増加及び連携した推進</li> <li>・店頭等啓発活動</li> </ul> <p>○レジ袋削減キャンペーンの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賛同事業者と連携した啓発活動</li> </ul>
<p><b>ごみ減量日本一サイト新設</b></p>	<p><b>ごみ減量情報発信サイト「信州ごみげんねっと」の運営</b></p> <p>○市町村、関係団体等との連携によるサイト内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント情報（フードドライブ等）、ごみげん協力店情報等の発信強化</li> </ul>
<p><b>広報媒体を活用した啓発</b></p> <p>・新聞広告（10月）</p> <p>・テレビ・ラジオCM（豊かん予算）</p>	<p><b>広報媒体を活用した啓発継続</b></p> <p>○ごみ減量キャンペーン等の新聞広告の継続</p> <p>○信州豊かな環境づくり県民会議の予算を活用した啓発の継続</p>
<p><b>環境教育の継続</b></p>	<p><b>環境教育の継続</b></p> <p>○H27、H28に作成した小学生向けごみ減量（食品ロス削減）に関する教材の普及</p>
<p><b>チャレンジ800実行チームでの取組継続</b></p>	<p><b>チャレンジ800実行チームでの取組継続</b></p> <p>○地域の実情に応じた県と市町村の連携によるごみ減量化の取組</p>
<p><b>職員の自主的取組の推進</b></p>	<p><b>職員の自主的取組の推進</b></p> <p>○JSN“チャレンジ800通信”（年2回程度発行）</p> <p>○環境部「わたしのチャレンジ800」実施</p>

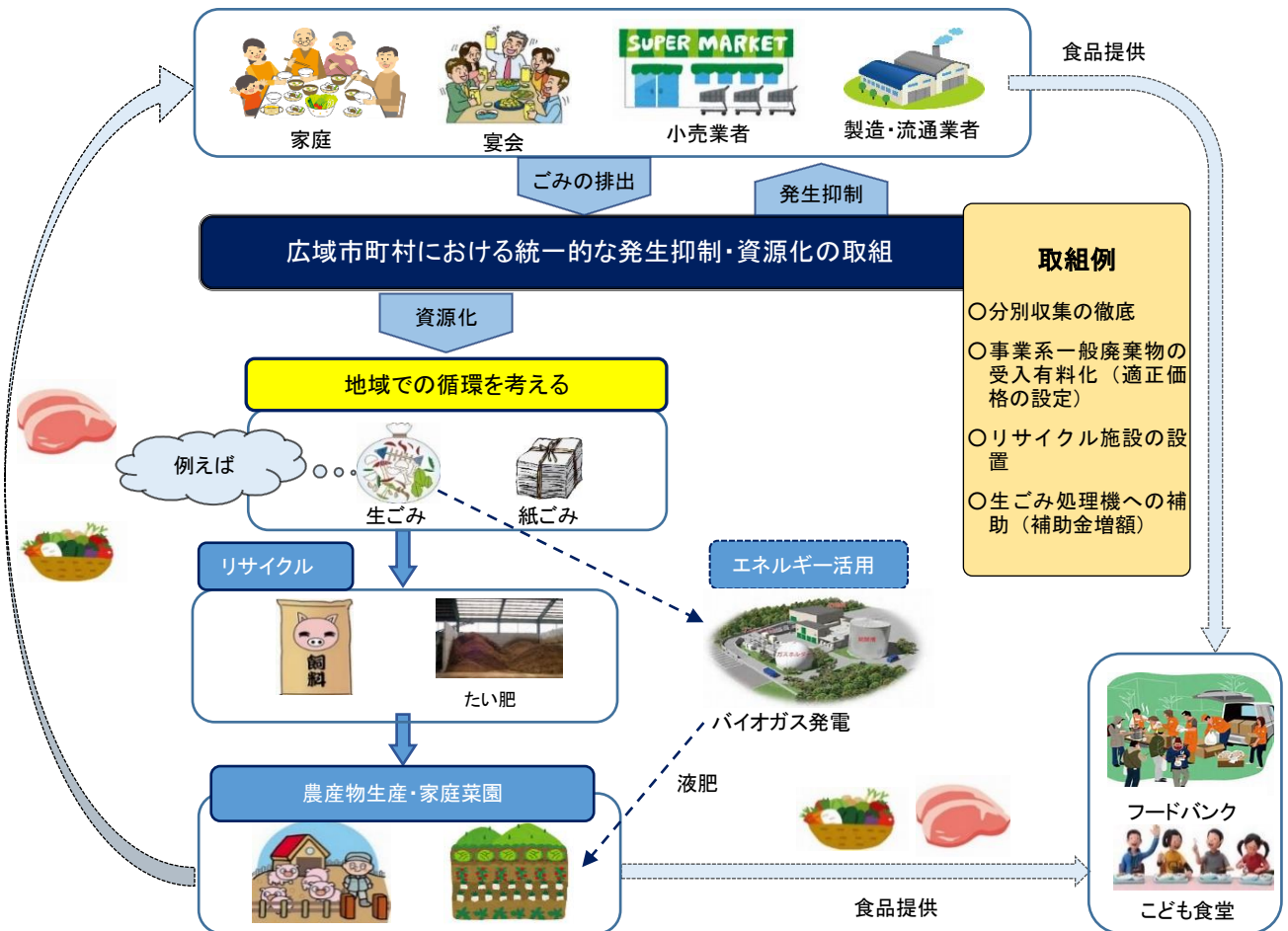


## 地域循環圏について

### ○地域循環圏とは

地域の廃棄物処理の実情や廃棄物の種類（生ごみ等食品廃棄物、家畜ふん尿、木くずなど）に応じ、資源として地域で循環可能なものはなるべく地域で循環させ、それが困難なものについては、物質が循環する環を広域化させていき、重層的な地域循環を構築するもの  
 効果：社会コストの削減、新規ビジネスの創出、低炭素社会・自然共生社会の形成

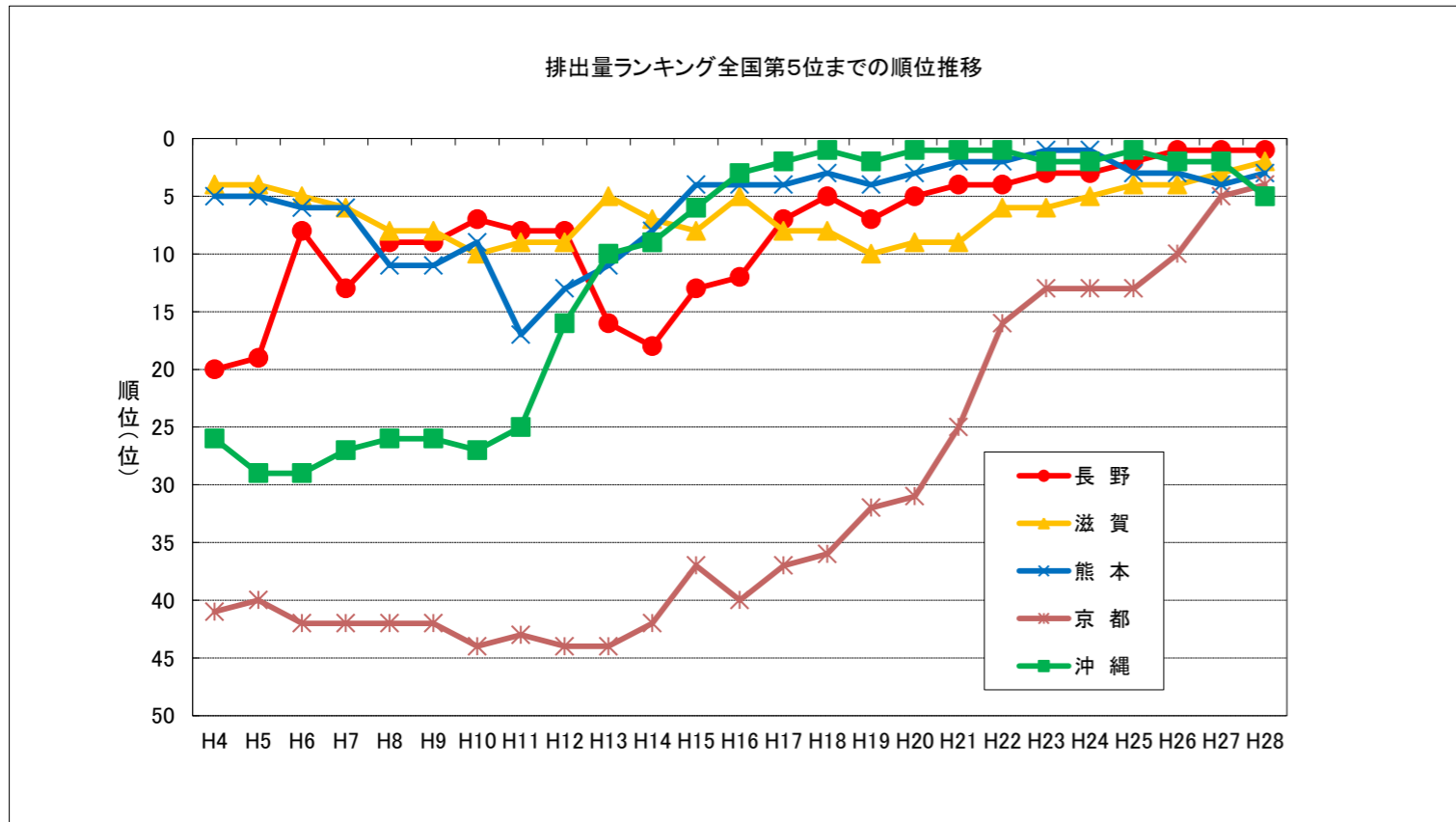
### ○イメージ図



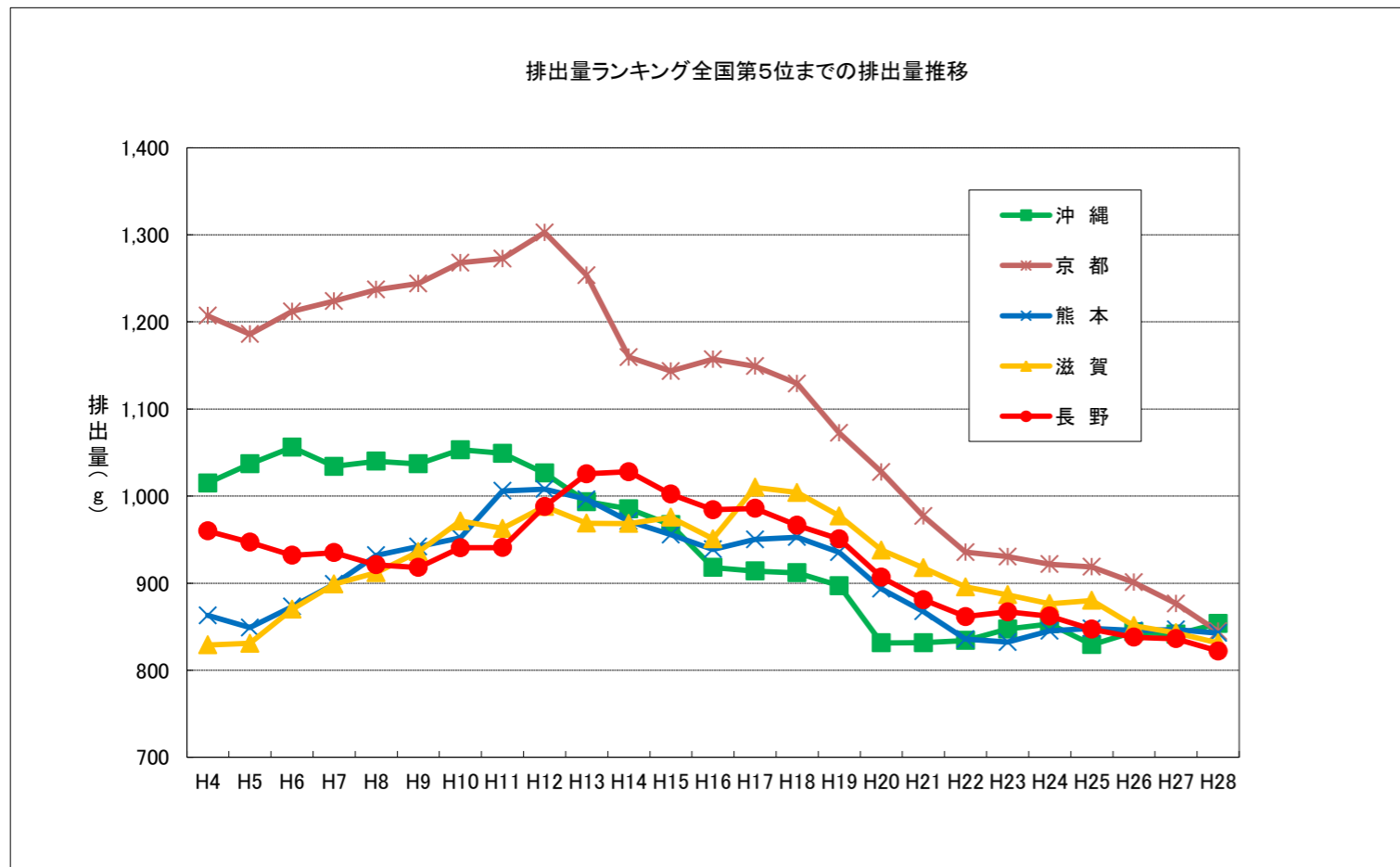
1人1日当たりごみ排出量の少なさ上位5府県の状況

(単位:1人1日あたり排出量g、増減%)

単位:円

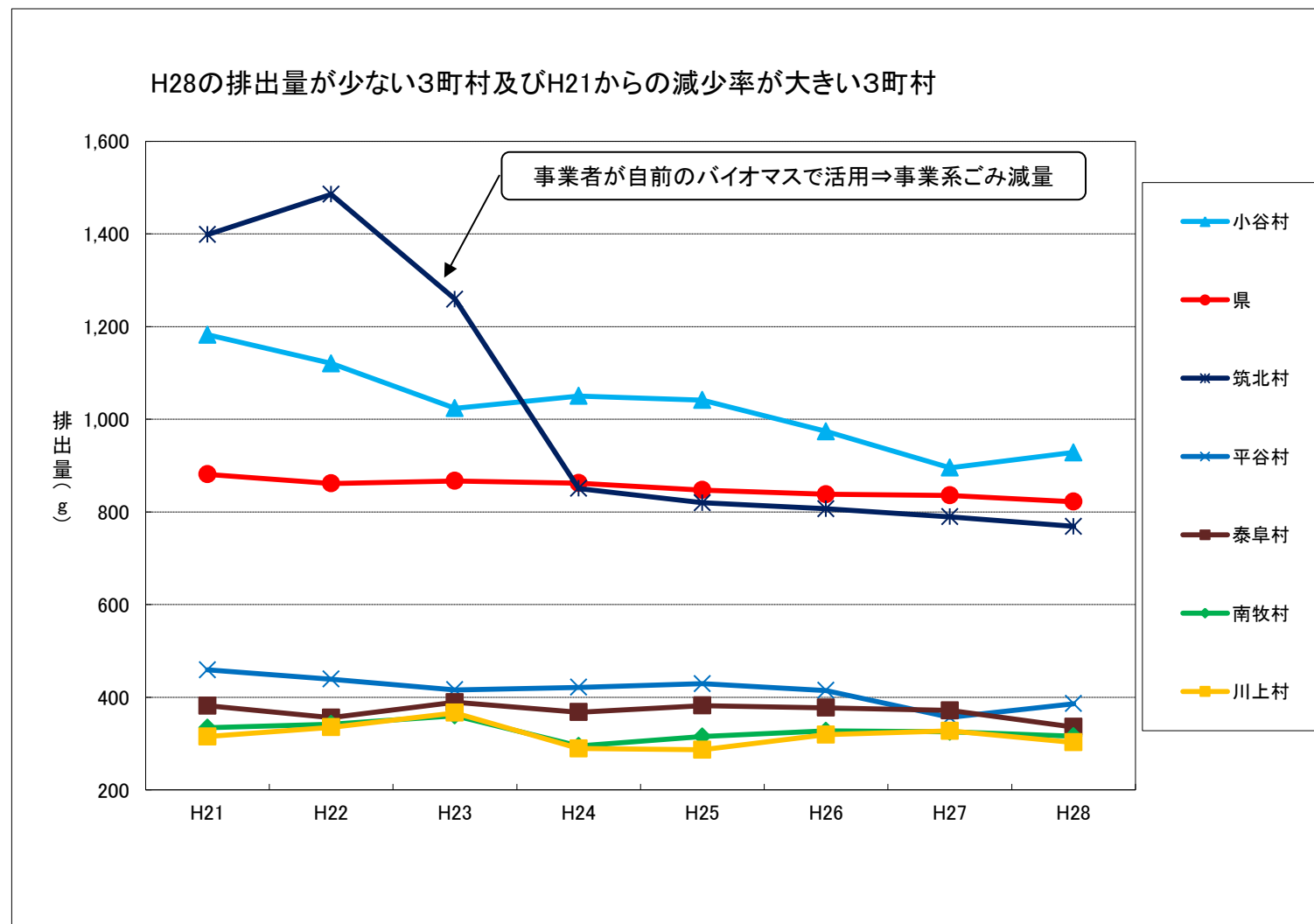
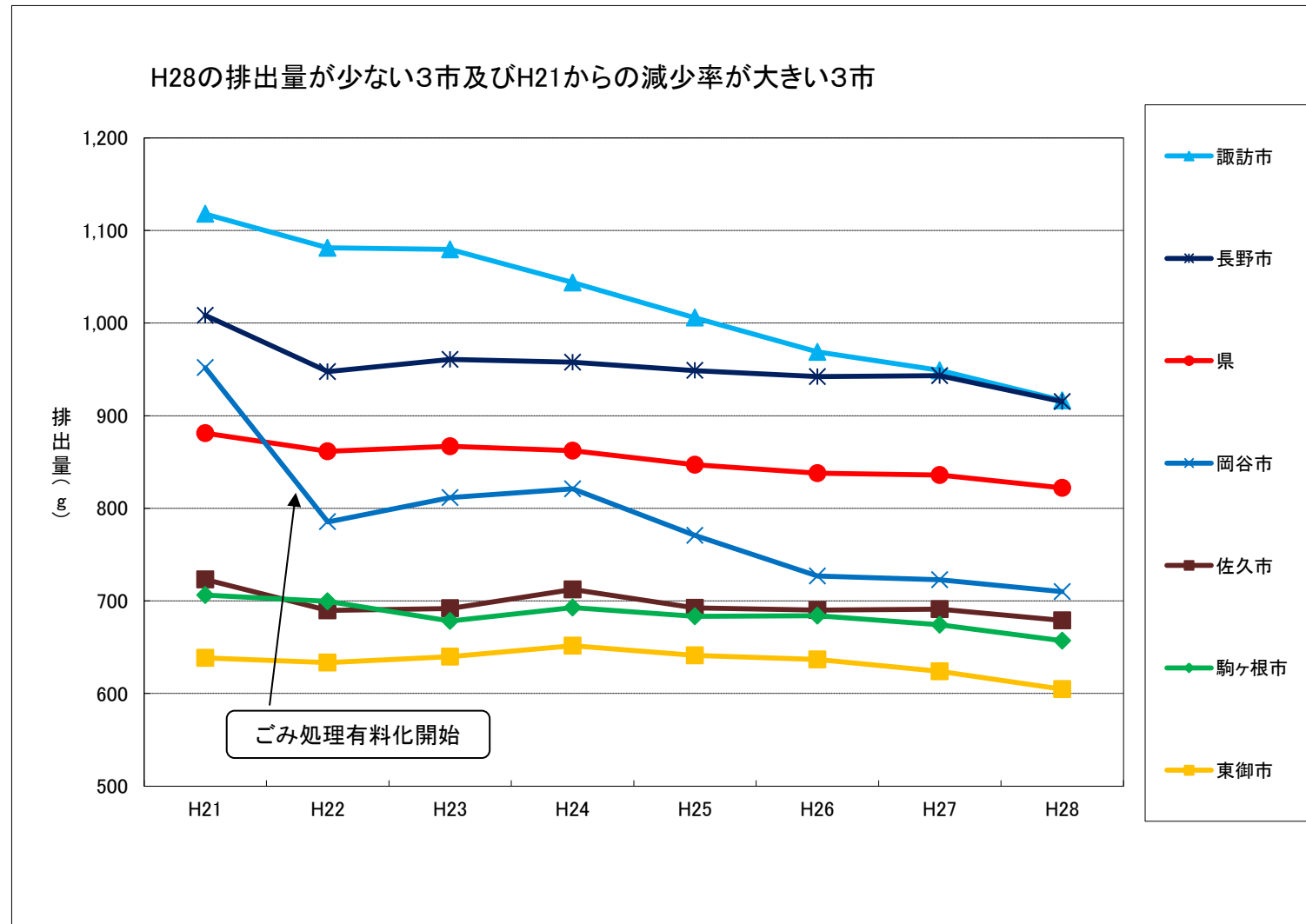


府県名	年度数値	排出量計	生活系				事業系	【参考】 1人当たり 処理経費
			可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	その他		
長野県	H28	822	378	29	157	4	255	13,553
	H21	881	399	34	200	4	243	11,672
	増減	▲ 6.7	▲ 5.4	▲ 16.9	▲ 21.7	▲ 6.0	4.9	16.1
滋賀県	H28	831	431	29	121	26	225	14,117
	H21	918	464	43	148	26	236	13,203
	増減	▲ 9.4	▲ 7.2	▲ 33.1	▲ 18.4	▲ 2.5	▲ 4.5	6.9
熊本県	H28	843	425	17	123	8	269	14,531
	H21	868	458	19	118	6	266	13,188
	増減	▲ 2.9	▲ 7.2	▲ 10.0	4.7	36.5	0.8	10.2
京都府	H28	845	188	22	114	211	311	13,674
	H21	977	196	32	112	234	404	15,432
	増減	▲ 13.5	▲ 4.3	▲ 31.3	2.1	▲ 9.9	▲ 23.0	▲ 11.4
沖縄県	H28	854	442	16	72	16	308	14,600
	H21	832	447	13	73	12	287	13,735
	増減	2.6	▲ 1.1	18.7	▲ 1.0	32.3	7.5	6.3



府県名	特徴的な取組
長野県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジ800</li> <li>・信州ごみげんネット開設(ポータルサイト)</li> <li>・3010運動</li> <li>・食べ残しを減らそう県民運動 e-プロジェクト</li> <li>・レジ袋削減</li> </ul>
滋賀県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三方よし!!でフードエコ・プロジェクト</li> <li>・ごみゼロしが開設(ポータルサイト)</li> <li>・マイボトルスポットMAP(関西広域連合)</li> <li>・マイバック動画コンテスト(関西広域連合)</li> </ul>
熊本県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州食品ロス削減バンク</li> <li>・くまもと食べきり運動</li> <li>・九州まちの修理屋さん</li> <li>・ばってんりサイクルくまもと(情報誌)</li> </ul>
京都府	<ul style="list-style-type: none"> <li>・循環型社会形成に向けての取組や提案の募集</li> <li>・マイボトルスポットMAP(関西広域連合)</li> <li>・マイバック動画コンテスト(関西広域連合)</li> </ul>
沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境にやさしい買い物キャンペーン</li> <li>・レジ袋有料化</li> <li>・ちゅら島環境美化全国一斉清掃</li> </ul>

### 1人1日当たりのごみ排出量の推移



(単位: 1人1日あたり排出量g、増減%)

資料2-9

市名	年度数値 増減	排出量計	生活系				事業系	【参考】単位:円 1人当たり処理経費	
			可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	その他			
減少率 大きい市	諏訪市	H28	917	443	9	165	0	299	9,585
		H21	1,118	569	13	171	8	356	9,525
		増減	▲ 18.0	▲ 22.1	▲ 32.6	▲ 3.4	▲ 100.0	▲ 16.0	0.6
	長野市	H28	915	375	33	215	0	291	9,551
		H21	1,008	427	46	236	0	298	8,162
		増減	▲ 9.2	▲ 12.2	▲ 28.1	▲ 8.8	▲ 100.0	▲ 2.4	17.0
岡谷市	H28	710	392	6	129	0	183	5,099	
	H21	952	574	13	220	0	145	11,244	
	増減	▲ 25.4	▲ 31.7	▲ 53.3	▲ 41.3		26.3	▲ 54.7	
排出量 が少ない市	佐久市	H28	679	336	54	134	0	155	8,429
		H21	723	329	65	186	0	144	6,289
		増減	▲ 6.1	2.2	▲ 17.4	▲ 27.6		7.8	34.0
	駒ヶ根市	H28	657	285	38	150	1	184	8,321
		H21	706	285	39	199	1	183	9,221
		増減	▲ 7.0	0.0	▲ 3.8	▲ 24.7	28.6	0.6	▲ 9.8
東御市	H28	605	340	41	141	0	82	12,616	
	H21	638	333	58	153	2	92	12,368	
	増減	▲ 5.3	2.0	▲ 28.9	▲ 7.9	▲ 100.0	▲ 10.8	2.0	
長野県	H28	822	378	29	157	4	255	13,553	
	H21	881	399	34	200	4	243	11,672	
	増減	▲ 6.7	▲ 5.4	▲ 16.9	▲ 21.7	▲ 6.0	4.9	16.1	

町村名	年度増減	排出量合計	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	その他	事業系	1人当たり処理経費	
減少率 大きい町村	小谷村	H28	928	312	23	169	26	399	22,892
		H21	1,182	430	52	119	11	571	26,015
		増減	▲ 21.5	▲ 27.5	▲ 56.2	41.9	135.8	▲ 30.1	▲ 12.0
	筑北村	H28	769	317	0	142	24	286	5,109
		H21	1,399	298	23	197	2	878	5,713
		増減	▲ 45.0	6.1	▲ 100.0	▲ 27.9	852.0	▲ 67.4	▲ 10.6
平谷村	H28	386	103	42	169	0	72	29,749	
	H21	459	112	87	199	0	61	22,521	
	増減	▲ 15.9	▲ 8.6	▲ 51.3	▲ 15.1		18.3	32.1	
排出量 が少ない町村	泰阜村	H28	336	152	33	141	10	0	10,641
		H21	382	139	73	164	6	0	8,286
		増減	▲ 12.0	9.2	▲ 54.1	▲ 14.0	63.8		28.4
	南牧村	H28	316	156	30	125	5	0	5,467
		H21	334	142	21	165	6	0	6,429
		増減	▲ 5.4	9.4	46.8	▲ 24.3	▲ 19.3		▲ 15.0
川上村	H28	303	168	14	108	12	0	5,886	
	H21	315	144	19	144	8	0	7,345	
	増減	▲ 4.0	16.9	▲ 25.6	▲ 25.2	51.0		▲ 19.9	